

<常設展「していみゅーで発見！岡山の魅力！」関連企画>

2026年3月7日（土）



岡山シティミュージアム 開館 20 周年記念

上映会 シリーズ 映像で振り返る

岡山の「昭和 100 年」第 10 回



令和 8（2026）年は、1926 年 12 月 25 日に昭和天皇が即位し「昭和」が始まってちょうど 100 年になります。岡山シティミュージアムでは昨年から 10 回シリーズの上映会「映像で振り返る岡山の『昭和 100 年』」を開催。岡山市の「昭和」「平成」「令和」の三つの時代、100 年の歴史を振り返ってきました。

最終回＝第 10 回は「桃太郎伝説と豊臣の誇りを今に」。2018 年に桃太郎伝説が日本遺産に認定されました。伝説ゆかりの地、吉備津神社の国宝本殿・拝殿の大修理の記録、桃太郎伝説の背後にある温羅伝説、豊臣家の栄華を今に伝える文物を保存してきた陣屋町足守など、岡山市民の誇りの源である歴史や文化を記録し、保存し、次の世代へ伝える目的で制作された 4 作品を上映します。

最終回＝第 10 回上映会「桃太郎伝説と豊臣の誇りを今に」

開催日：令和 8(2026)年 3 月 7 日(土)

会場：岡山シティミュージアム 4 階講義室

開場：13:30 開演：14:00 終了予定：15:50 の見込み

* 参加無料。定員 70 名。(予約優先)電話でお申し込みください。

受付開始：令和 8(2026)年 2 月 10 日(火)10:00～

主催：岡山シティミュージアム

〒700-0024 岡山市北区駅元町 15-1 リットシティビル南棟 4 階・5 階

申し込み・問い合わせ用電話：086-898-3000(10:00～18:00、休館日を除く)

<上映予定の主な映像作品>

■「JR 桃太郎線でめぐる日本遺産の旅」



企画・制作 岡山シティミュージアム

完成 平成 31 (2019) 年 11 月 26 日

長さ 21 分 59 秒

(内容)岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市が申請した「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」は平成 30(2018)年 5 月、文化庁から日本遺産に認定されました。日本遺産を構成する 29 件の文化財のほとんどが岡山駅と総社駅 22 キロを結ぶ JR 桃太郎線の沿線、吉備路で生まれたものです。JR 桃太郎線とレンタサイクルを利用し、吉備津神社や鬼ノ城など構成文化財を巡る旅を映像化しました。

■「桃太郎伝説と温羅伝説」



企画・制作 岡山市デジタルミュージアム

完成 平成 16 (2004) 年

長さ 7 分

(内容)桃太郎と言えば岡山と、現代では桃太郎の物語はすっかり岡山と結び付けられて語られるようになりました。その背景には岡山の地に古くから伝わる温羅伝説があったからです。百済から飛んできた王子と言われる鬼の温羅ゆかりの地、鬼ノ城や楯築遺跡、吉備津神社など、温羅伝説をひも解きながら吉備路に点在する物語の舞台を訪ねます。

■「平成に輝く 吉備津神社平成大改修の記録」



企画 吉備津神社

制作 山陽映画株式会社

完成 平成 20 (2008) 年

長さ 51 分 28 秒

(内容)吉備津神社では、平成 16(2004)年から 4 年をかけ「平成の大改修」が行われました。国宝の本殿・拝殿を覆う檜皮(ひわだ)屋根の全面葺き替え、本殿内の漆の塗り替え、飾り金具の補修など、先人から受け継いだ貴重な建造物を後世へ伝えるため、改修は広範囲に及びました。この作品は工事を 4 年間にわたって追いかけた貴重な映像記録です。* 吉備津神社の本殿・拝殿は応永 32(1425)年将軍 足利義満の命で再建され、昨年再建 600 年を迎えました。

■「豊臣の栄華を今に伝える～木下家 陣屋町 足守～」



企画・制作 岡山シティミュージアム

完成 令和 5(2023)年 9 月 1 日

長さ 11 分 50 秒

(内容)豊臣秀吉の正妻、北政所ねねの実家、木下家の陣屋町があった岡山市北区足守地区を訪れ、木下家の陣屋跡や近水園、家老屋敷、木下家資料を保管していた長屋門と足守文庫、町並み保存地区などを巡ります。また木下家資料が岡山シティミュージアムへ移され保存されることになった経緯、木下家資料の中の優品—ねね所用と伝わる風呂桶、千成瓢箪、豪華な調度品—などを解説。豊臣家の栄華を今に伝える陣屋町足守の魅力をたっぷりと伝えます。

* ねね没後 400 年を記念して 2024 年に開催した展覧会のために制作した作品です。